

--★--☆--★--☆--★--☆--★--☆--★--☆

GII コロナ意見交換会 勉強会

コロナ下の「性と生殖の健康および権利（SRHR）」市民社会の果たす役割 第 2 回 「女性の生涯を通じた健康の礎としての SRHR」

☆--★--☆--★--☆--★--☆--★--☆--★--

◎日時：10月3日 10:00-11:30（90分）

◎参加申込：こちらのリンクから申込フォームに登録をお願い致します。 <https://forms.gle/aXH4WQRqQoxjyz639>

◎主催：GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会 コロナ意見交換会

◎問合せ：（特活）アジア砒素ネットワーク 担当：石山 メール：aanmjapan(@)gmail.com ※()を外してください。

※お申し込みをされた方には事前に Zoom リンクをお送りします。終了後、事前申し込みをされた方のみ、録画リンクをお送りする予定ですが、事情によりお送りできないこともありますのでご了承ください。

◎プログラム

・開会あいさつ・趣旨説明：アジア砒素ネットワーク 石山民子

・国際保健の活動現場からの事例報告：世界の医療団 米良彰子さん

・お話し：

「女性の生涯を通じた健康の礎としての SRHR～日本の取り組みの成果と課題は国際保健の現場に活かせるか～」
スピーカー 池田裕美枝さん

京都大学医学部附属病院産婦人科医師、一般社団法人 SRHR Japan <https://srhr.jp/> 代表理事

・質疑応答 ディスカッション

・閉会あいさつ：GII 懇談会 NGO 連絡会代表 稲場雅紀

- ★ COVID-19 パンデミックは、世界的に増加する肥満や非感染性疾患との相互作用の結果起きたとされています。非感染性疾患という聞きなれないかもしれませんが、糖尿病、癌、循環器疾患、慢性呼吸器疾患といった慢性疾患のことで NCDs（Non-communicable diseases）と呼ばれます。このような基礎疾患があることで新型コロナウイルスに感染すると重症化することがコロナ禍において連日報じられていたことは記憶に新しいところです。
- ★ 私たち国際保健を扱ういくつかの NGO は、中低所得国のスラムや農村部、難民キャンプなどで暮らす人々の支援をする中で、日々の食事にも事欠くような貧しい生活を送る、若い世代にも NCDs が広がっていることに数年前から注目してきました。
- ★ 特に、女性では 20 代 30 代の若いうちから、糖尿病や高血圧に悩む人が多く、何か社会的な要因があるのではないかと考えるようになっていました。
- ★ 世界保健機関（WHO）はほとんどの NCDs は予防可能であり、アンバランスな食事、運動不足、過度な飲酒、喫煙の 4 つの行動リスクを回避することを推奨しています。これらの行動リスクに加え女性は、地域によっては 10 代前半から厳しい行動制限を受け、結婚し、妊娠・出産を繰り返すなど、特有の健康リスクを抱えています。
- ★ 女性の生涯を通じた健康の達成には、思春期からの栄養改善や健康教育、性と生殖についての自己決定の尊重、妊娠・出産・産後の適切な健康管理を含む SRHR「性と生殖に関する健康及び権利」の擁護が不可欠です。
- ★ 今回は、国際保健を扱う NGO の勉強会に、産婦人科医として、また、SRHR の専門家として活躍される池田裕美枝さんにご登壇いただき、「女性の生涯の健康維持」と「SRHR」の視点からお話をお聞きし、日本でやってきた良いことや、ぶつかっている問題点などが、他の国でも役に立つかなど考えていきます。

GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会 コロナ意見交換会

GII/IDI 懇談会は、国際保健に関する NGO と日本政府の対話と協力のために 1994 年に発足したフォーラムです。そのうち NGO 側のグループが「GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会」となっています。「COVID-19 と援助に関する意見交換会」（略称：コロナ意見交換会）は、2020 年 11 月、GII 懇談会 NGO 連絡会の中で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する多国間・二国間の援助の在り方についての意見交換や必要な事項について勉強会を行うことを趣旨として発足し、毎月 1 回の意見交換会と、1~2 か月に一回のテーマを決めた勉強会を開催しています。